

2013年4月16日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報16号
観光客の強盗・窃盗被害の増加

リオを訪れる観光客の増加に伴い、観光客を標的とする強盗や窃盗の発生が増加しています。報道によれば、今年1月の観光客被害は、前年同月比6.4%増、一昨年同月比では52.5%の増加を記録しています。

観光客だけでなく、一般治安も悪化傾向で、今年に入ってから強盗も窃盗も昨年を上回るペースで発生しています。

9日夜には、ラランジェイラス地区の Rua Pinheiro Machado で女優とドラマ監督の夫妻が乗車した乗用車が強盗に襲われ、警察が犯人を追尾して銃撃戦が発生しました。

13日夜には、ラゴア地区 Rua Vitoria Regia の一戸建て民家に拳銃を所持した3人組が押し入り、自動車やパソコンを強奪しました。犯人は住人が自宅に戻るタイミングを狙って襲った模様です。本件被害者は報道に対して、最近3ヶ月に同通りで少なくとも5,6件、同様の侵入強盗が起きていると話しています。

犯罪者は常に標的を探していると認識し、隙を見せないよう注意してください。また、不幸にして強盗に襲われた場合には、不用意に反撃したり大声を出したりせず冷静に対応し、相手の要求に従うようにしてください。